

# 須田医科 ピンセット

[個別包装の表示も併せて確認すること]

## 【警告】

（一本製品は未滅菌品である。使用前に必ず洗浄および滅菌を実施すること。

[不十分な洗浄・滅菌は感染の原因となる]

（二製品の特性を十分に理解し、適正な目的にのみ使用すること。

[目的外使用は患者への傷害および製品破損の原因となる]

（三落下等の衝撃を加えたり、曲げ・ねじり等の変形を与えないこと。

[製品の劣化・破損の原因となる]

（四包装開封時および洗浄・滅菌作業時には、先端部等の鋭利な箇所によるケガに注意すること。

## 【禁忌・禁止】

（一本製品に打刻、研削等の二次加工を行わないこと。また改造や意図的な変形を加えないこと。

[製品の劣化・破損の原因となる]

（二強酸性、強アルカリ性または塩素系の溶液に長時間浸漬しないこと。

[腐食・変色の原因となる]

（三湿潤状態で長時間放置しないこと。

[錆の原因となる]

（四医療機器修理業者以外による修理・改造は行わないこと。

## 【形状・構造及び原理等】

### 形状

平ハンドル、丸ハンドル、バヨネット型を含む。代表的な外観を下図に示す。



図1 須田医科 ピンセット（代表例）

### 構造及び原理

2枚のアームがハンドル部で一体に結合された構造である。手指でハンドル部を握ることにより先端の保持面が閉じ、握力を緩めるとばね反発力により開放される。

### 原材料

ステンレス鋼（SUS420J2 等、Fe-Cr 系）またはチタン合金（Ti-6Al-4V）。体に接触する部分は上記金属材料である。

## 【使用目的又は効果】

手術時に組織や物体を挟持するための手術器具である。2枚の保持面を閉じて対象を挟む構造を有し、ハンドルは永久的に結合されている。本品は再使用可能である。

## 【使用方法等】

手指でハンドル部を握り、先端保持面を対象の組織や物体を挟持する。握力を緩めると先端が開放される。

## 【使用上の注意】

（一本製品は、手技に習熟した医師またはその指導下で使用すること。使用目的以外の用途に使用しないこと。

## 【保管方法及び有効期間等】

### 保管方法

（一保管前に必ず洗浄し、腐食防止のため十分に乾燥させること（保管期間の長短を問わない）。

（二滅菌済みの状態で保管する場合は、再汚染を防ぐため清潔な場所に保管し、有効保管期間を管理すること。

（三高温・多湿・直射日光を避けて保管すること。

（四湿気、埃および物理的衝撃を避けること。積み重ねによる変形に注意すること。

### 耐用期間

本品は再使用可能な鋼製手術器具である。使用頻度・取扱い・洗浄条件等によって耐用期間は変動するため、具体的な期間は定めれない。以下のいずれかを認めた場合は、使用を中止し廃棄すること。

- （ア）先端保持面の著しい摩耗
- （イ）ばね反発力の低下または消失
- （ウ）外観の著しい劣化（腐食・変色・傷）
- （エ）把持機能の異常

## 【取扱い上の注意】

（一塩素系、強アルカリ性および強酸性の溶液は、ステンレス表面の不動態皮膜を損傷し、錆・変色の原因となる。やむを得ず使用する場合は短時間にとどめ、使用後直ちに清水ですすぐこと。

（二塩化ベンザルコニウム系（第四級アンモニウム塩系）消毒液は鋼材に錆を誘発するため、本品の消毒には使用しないこと。

（三金属たわしやクレンザー（磨き粉）は器具表面を傷つけるため使用しないこと。

（四材質の異なる金属器具と混合して洗浄・保管すると電解腐食を生じるおそれがあるため、分別すること。

（五器具用潤滑剤は洗浄のたびに除去されるため、洗浄後は毎回塗布することを推奨する。

## 【保守・点検に係る事項】

### 洗浄

（一使用後は速やかに血液・体液・組織片等を除去し、洗浄すること。

（二洗剤は中性洗剤（pH6~8）を使用すること。

（三納入後初めて使用する際は、製造時の防錆油が残留しているため、必ず除去すること。ブラシ等を用いて全体を入念に洗浄し、十分にすすいだ後に乾燥させること。

（四洗浄装置（ウォッシャーディスイネクター等）を使用する場合は、器具同士の接触による先端部の損傷を防ぐため、個別に保護して洗浄すること。

（五洗浄水は蒸留水または脱イオン水の使用を推奨する。水道水中の残留塩素が腐食・変色を招くことがある。

（六すすぎは洗剤残留がなくなるまで十分に行うこと。洗浄後は腐食防止のため速やかに乾燥させること。

### 滅菌

使用前に必ず下記のいずれかの方法で滅菌を行うこと。

（一高压蒸気滅菌（オートクレーブ）：以下のいずれかの条件で滅菌すること。

- ・プレバキューム式：134℃、5分以上
- ・重力置換式：121℃、20分以上

- (二使用前に必ず適切な方法で洗浄・滅菌を実施すること(本品は未滅菌品である)。
- (三使用前に破損、傷、曲がり、先端のかみ合わせ等に異常がないことを目視で確認し、異常がある場合は使用しないこと。
- (四使用後は付着した血液・体液・組織片等が乾燥する前に速やかに洗浄すること。
- (五材質の異なる金属器具(ステンレス製とチタン製等)は電解腐食を防止するため、分別して洗浄すること。
- (六累積使用により機械的性能の低下が生じることがある。先端の開閉動作やばね反発力に変化を認めた場合は使用を中止すること。

滅菌バッグに包装すること。使用水は蒸留水等の脱塩素水を推奨する。

- (二プラズマ滅菌：使用する滅菌装置の指示に従うこと。
- (三EOGガス滅菌：使用する滅菌装置の指示に従うこと。

#### 点検

- (一使用開始前および各洗浄後に、外観および動作について点検を実施すること。点検対象：外観(傷・変色・錆)、先端保持面の状態、ばね反発力。
- (二使用中に動作の違和感、操作荷重の変化等を認めた場合は、直ちに使用を中止し点検を行うこと。
- (三点検の結果、異常を認めた場合は製造販売業者に修理を依頼するか、本品を廃棄すること。

#### 【包装】

1本

---

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

有限会社須田医科器械製作所

〒344-0014 埼玉県春日部市豊野町2-30-2 TEL 048-737-8449

製造業者 有限会社須田医科器械製作所(製造業登録番号：11BZ000327)